

## 第13回 発信メディア側のまとめ

2008年1月8日  
毎日新聞編集局 大川勇

### 【はじめに】

- ・ 新聞におけるニュース面とフィーチャー面

### 【暮らしニュースの位置付け】

- ・ 暮らしに役立つ情報がメイン

### 【新聞社の縦割り制と暮らしニュース】

- ・ 長引く不況と少子高齢化社会が進む中で、読者ニーズに応えられなかった取材体制

### 【部横断的な組織づくりと成果】

- ・ 「暮らしナビ」面とキャンペーン記事について

### 【雑誌とテレビの取り組み】

- ・ 老舗雑誌と草分け番組の取り組み

### 【これからの暮らしニュース】

- ・ パブリック・ジャーナリズムの理念と双方向性

- ・ パブリック・ジャーナリズムの目標

「従来の傍観主義的な姿勢ではなく、地域のために報道の対象に踏み込み、生活者あるいは当事者の立場から解決策を探り、解決法の選択肢を提示する。最終的に判断するのは市民であるが、問題の背景にある根本的要因を市民とともに考察することが、ジャーナリズムが社会に寄与する道である」（電通・木暮啓さん）

以上